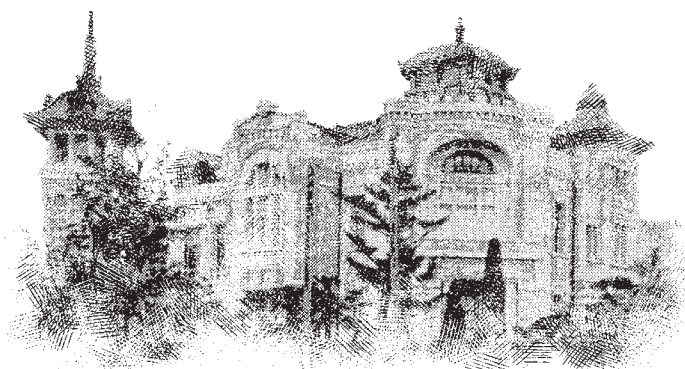
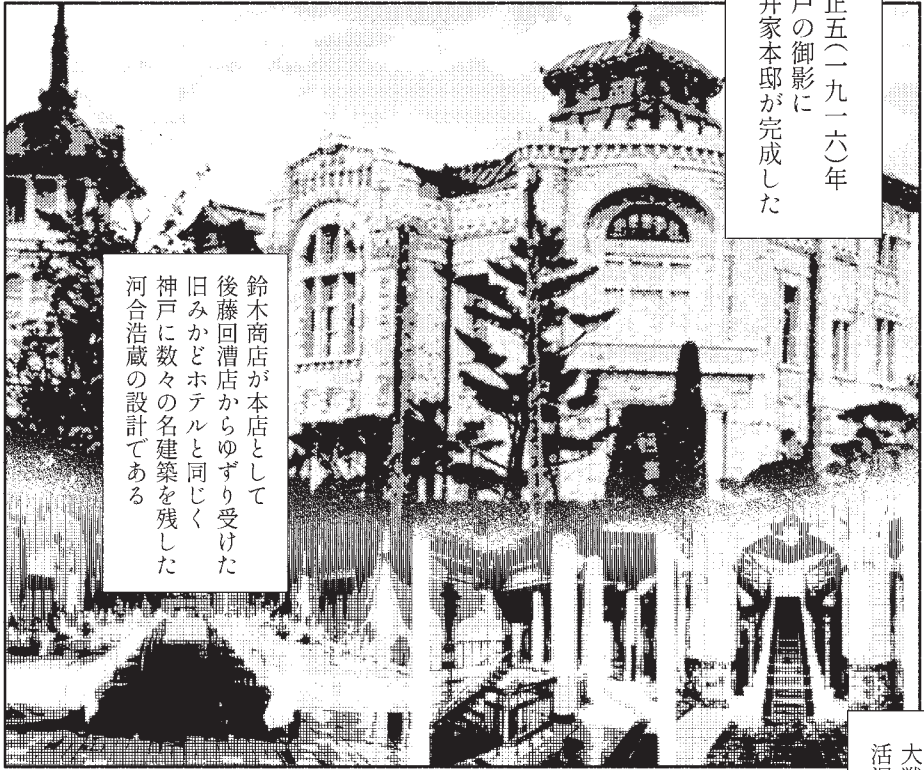


第6章

岩井・鈴木によるソーダの国産化と調達
岩井商店 関西ペイント設立



大正五(一九一六)年
神戸の御影に
岩井家本邸が完成した



鈴木商店が本店として
後藤回漕店からゆずり受けた
旧みかどホテルと同じく
神戸に数々の名建築を残した
河合浩蔵の設計である

※昭和20年5月17日、6月5日の空襲で全焼

岩井商店も
大戦景気の影響で
活況を呈していた

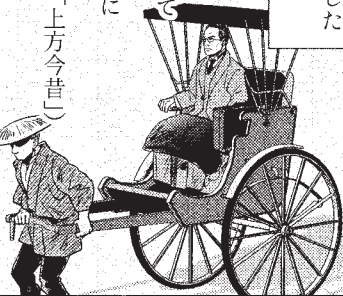


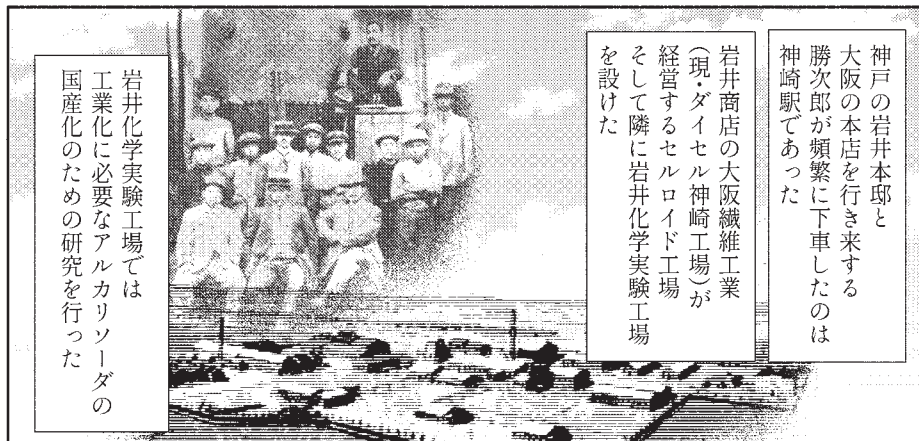
岩井勝次郎が居を移した
影響は財界に及んだ

「大正の初めころに、
岩井勝次郎さんが住吉に
移りすんだのを初めとして
大阪の富豪がみんな
住吉近辺に移りすむようにな
ってしまった。」

(朝日麦酒社長・山本為三「上方今昔」)

「毎朝人力車で国鉄の住吉駅まで行き、
大阪の岩井本社へ通う。
その姿が見えないときは、
駅長が列車を停めて勝次郎の到着を待つ。」
(関西ペイント発行「創業者岩井勝次郎」)

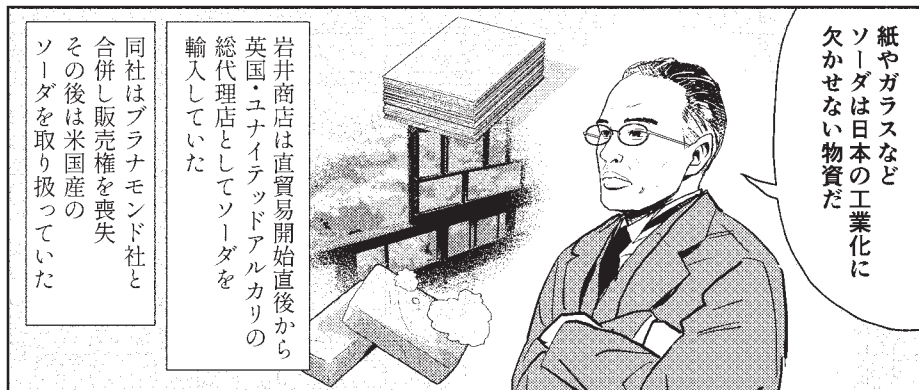




神戸の岩井本邸と
大阪の本店を行き来する
勝次郎が頻繁に下車したのは
神崎駅であった

岩井商店の大阪繊維工業
(現・ダイセル神崎工場)が
経営するセルロイド工場
そして隣に岩井化学実験工場
を設けた

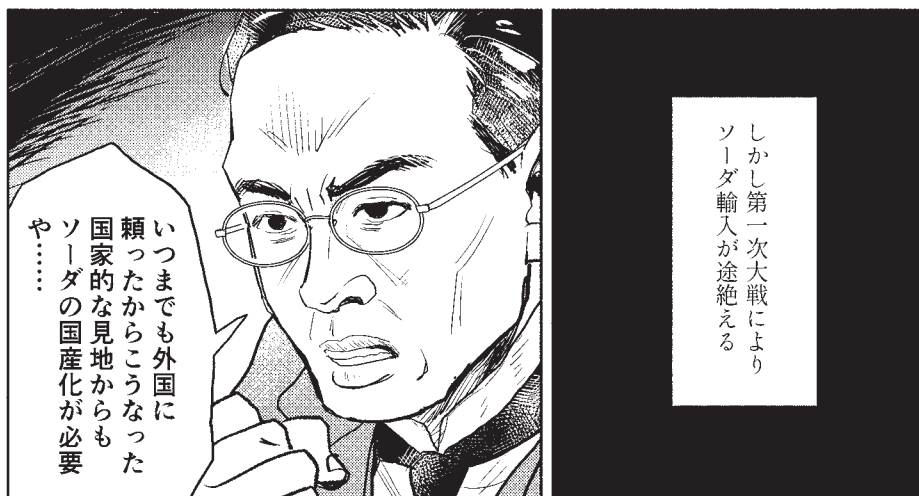
岩井化学実験工場では
工業化に必要なアルカリソーダの
国産化のための研究を行った



紙やガラスなど
ソーダは日本の工業化に
欠かせない物資だ

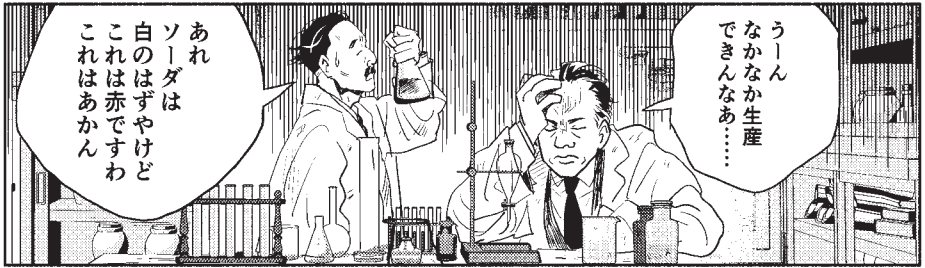
岩井商店は直貿易開始直後から
英国・ユナイテッドアルカリの
総代理店としてソーダを
輸入していた

同社はブランモンド社と
合併し販売権を喪失
その後は米国産の
ソーダを取り扱っていた



いつまでも外国に
頼ったからこうなった
国家的な見地からも
ソーダの国産化が必要
や……

しかし第一次大戦により
ソーダ輸入が途絶える



あれ
ソーダは
白のはずやけど
これは赤ですわ
これはあかん

うーん
なかなか生産
できんなあ……



そこにコロンビア大学で
自費でソーダ製造の研究を
行っていた岩瀬徳三郎が
視察に訪れる

ふむふむ……
根本的に間違っています
ソーダ工業は内陸ではなく
海岸に近いところがよろしい

分かった
大阪鉄板分工場がある
徳山に工場を作ろう



しかし
巨額の設備投資を要する
ソーダ事業は困難を伴い
岩井商店の屋台骨を揺るがす
岩井勝次郎命がけの事業と
なった……

大正七（一九一八）年
日本曹達工業（現・トクヤマ）
が設立される





常に事業は艱難になり
安逸に敗る

鈴木商店の金子直吉は
農商務大臣・仲小路廉に
呼び出されていた

ソーダの輸入が止まると
ガラス・製紙その他
百般の工業が一大障害を受ける
中には工場を休まなければ
ならないものも出てくる
かも知れない

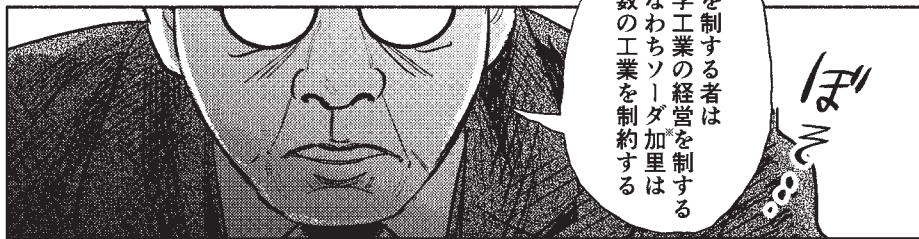
仰るとおり
そうなるでしょうな

であればソーダを
国産化するほかない
三菱の仕事で
九州にひとつ(旭硝子)
大阪の岩井の仕事で
周防の徳山にひとつ
工場があるがどうも
成功していない

ソーダは難しい
ようすな……

しかし金子さんなら
なんとかできるのでは？
政府としても
ソーダの国産化は
重要だと考えている

……
……
……



塩を制する者は
化学工業の経営を制する
すなわちソーダ加里は
多数の工業を制約する

ほ
お

※ 加里：炭酸カリウム(ガラス、医薬品、肥料など幅広い分野で使用)



むむっ？

鈴木商店は関東州と台湾で
塩業を営んでおります
岩井さんが元々組んでいた
ブラナーモンド(後ICI)と
鈴木商店の塩を使ってソーダ工場を
立ち上げてみましょう

この合併事業は
交渉こそ進んだが
第一次大戦の
終結が近づくと
ブラナーモンドが
態度を硬化させ
破談となった……



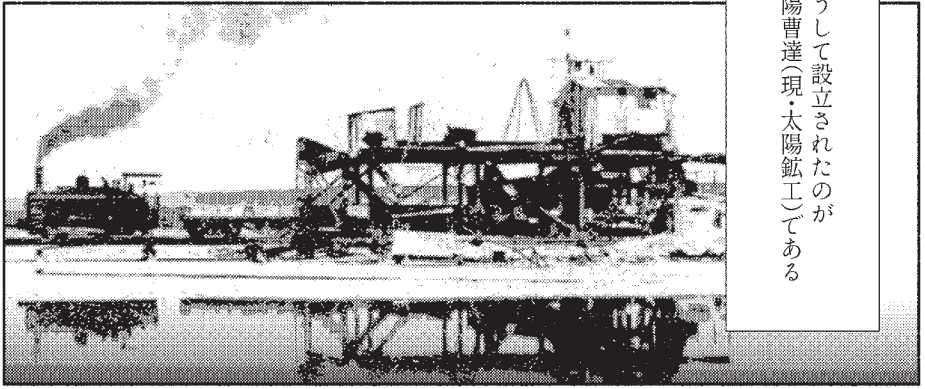
しかし思わぬところから
調達に成功する

ロンドンの
高畑からです！

高畑がやりよった！
アフリカ・ケニヤの東岸に
マガディという湖がある
そこには天然ソーダが仰山ある
英国にマガディソーダの
販売会社があってそこで
12年間の契約を
結んできよった!!

さすがは
高畑ですな！

こうして設立されたのが
太陽曹達（現・太陽鋳工）である



やあ田中くん
今日も欧米化学の
最先端技術の話
聞かせてくれ



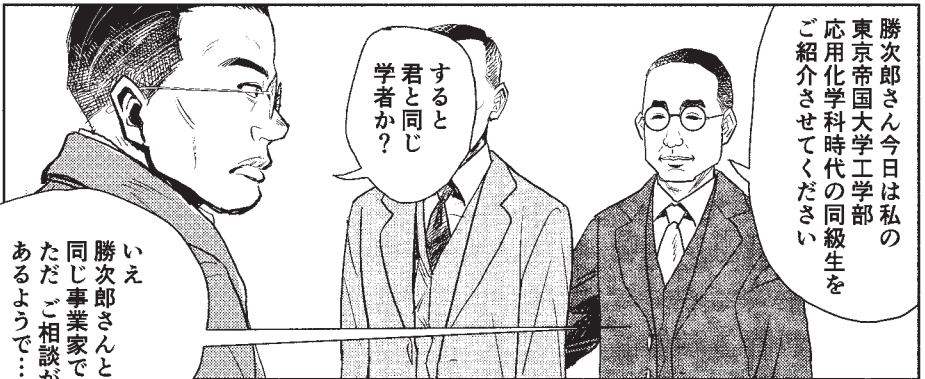
岩井勝次郎は邸宅に
さまざまな人を招き
話を聞く習慣があった



勝次郎さん今日は私の
東京帝国大学工学部
応用化学科時代の同級生を
ご紹介させていただきます

すると
君と同じ
学者か？

いえ
勝次郎さんと
同じ事業家です
ただご相談が
あるようで……



初めまして
玉水 弘と申します

日本ペイント
東亜ペイントをやめて
独立して西宮に
塗料の製造販売の
会社を立ち上げました
しかしどうにも
資金繰りが
厳しいのです……



なにっ
塗料の会社か！
岩井は英国の
ハバックス社から
輸入していたんだ
大戦で途絶えたんだ

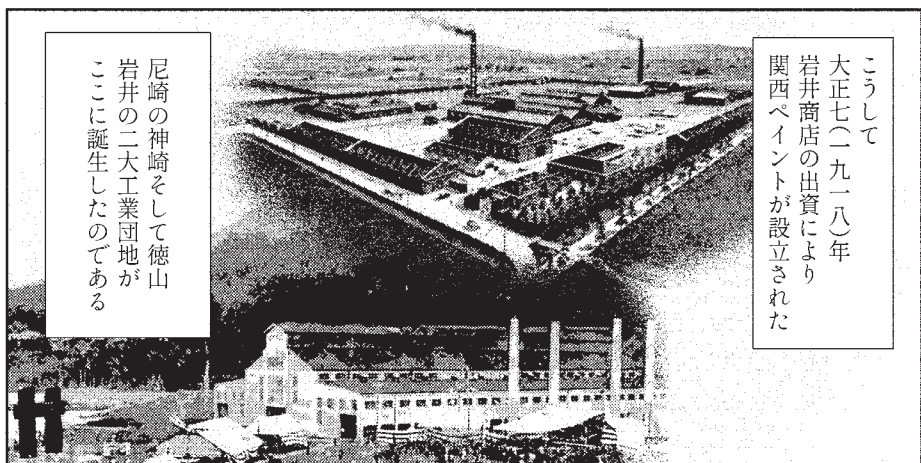
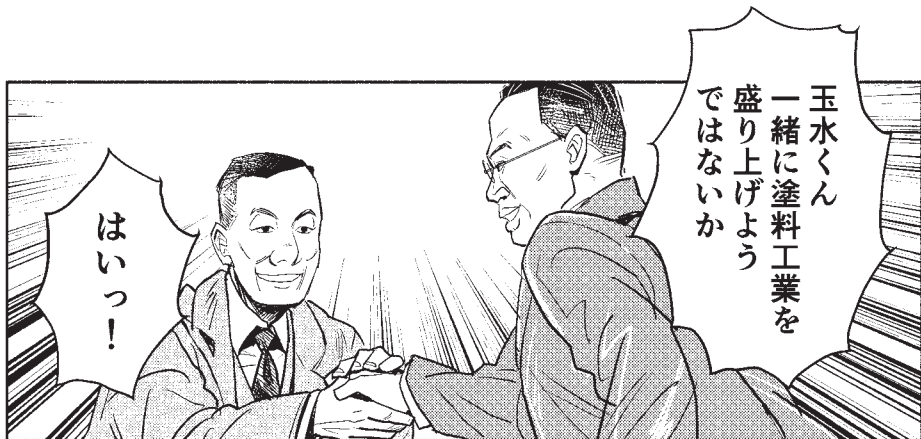


おお
それでは玉水がお役に
立ちましょ

塗料は繊維以外の
全ての工業に使われる
明治末期には一五〇〇トン
だった需要が大戦勃発後には
二万トンになっている

私は将来は海外にも輸出
したいと考えている





世界を
混乱に陥れた
第一次世界大戦
であったが

鈴木商店・岩井商店・日本綿花は
正確に情勢を読み
それぞれ新たな発想で
飛躍に成功したのであった

